



## 史上最悪シナイ半島(エジプト)テロだが、

ロシア大統領プーチン、イラン大統領ロウハニ、トルコ大統領エルドアンとの会合が11月22日ロシアで開かれシリア和平はロシア主導で大筋が決まった。

その直後11月24日エジプト・シナイ半島北部都市でイスラム教一派(スフィ)のモスクが襲われ死者305人、重軽傷128人の史上最大のテロが起きた。

IS(イスラム国)の犯行とされているが真犯人や背後関係は分かっていない。

犯行は礼拝者の全員を殺害すべく綿密に計画されて実行に移されている。

実行犯の背後に何者かがいるのは明白である。トランプ大統領がサウジを訪問(5月)、サウジのムハンマド皇太子はトランプと娘婿クシュナー大統領補佐官の指示に従ってカタールと断交(6月5日)、イランがカタール支援発表、7日イランでテロ発生、国会議事堂とホメイニ廟が銃撃され多数の死者を出した。ロシアがISの空爆を決めた2015年9月末から15日後の11月4日ロシアの旅客機がシナイ半島上空で爆破、墜落し、IS(イスラム国)が犯行声明を出して以来、シナイ半島はテロ多発半島になりエジプト政府は戒厳令を解いていない。それなのに史上最悪の犠牲者を出した今回のテロの首謀者はISと考えられているが、ISに9,000メートル上空を飛行中の飛行機を撃墜する能力はなく、ロシア機に精巧な時限爆弾を装填するのも不可能。セプテンバーイレブン(2001年9月11日)と同一犯か? 2013年以來の数々のテロの首謀者が誰であるかは結果を見ればわかる。

サウジとイランを一触即発に追い込み「中東戦争」に誘導しようとしている者がいることが分かる。

私のエジプト訪問は12月8日の前であったが、肝心のX-Dayがなくなったのでワシントンに変更することになった。追って真犯人を教えてあげるつもり。

トランプ政権はロシアが米大統領選でトランプ有利に働いたという所謂ロシア疑惑で揺れているが、私が昨年5月に「選挙の必要はない。トランプで決まり」と述べたように、トランプ大統領に決まったことはプーチンも百も承知だから選挙には一切手を出していない。今決めなくてはならないのはヒラリー(イスラエル左派)の協力で世界エネルギー支配に向かっていたのをトランプ(イスラエル右派)にすることだ。ロシア疑惑とは、激戦中のエネルギー戦争をカモフラージュする為に裾を少しめくってマスコミと国民を惹きつけているに過ぎない。カモフラージュといえばその典型が米朝対立。アメリカの対日、対韓兵器販売目標が達成されたので北朝鮮は現在休息中。

サウジがイランと戦争してもエジプト軍なしには3日と戦えないからスンニ派連合の自由裁量権はサウジではなくエジプトにある。アメリカ、イギリス、ロシアも又イスラエルもエジプトも、さらにイランとトルコまでもサウジを潰そうとしている。

一方もう直ぐ国王になるサウジのムハンマド皇太子はサウジ改革の為と言いながら独裁の道に進みアラブの盟主になろうと夢見ている。

中東戦争が刻一刻と迫ってくる。

増田俊男の「特別レポート第二弾」(「時事直言」協賛金お礼)を読めばすべて見える。

新規協賛者の皆様には「第一弾」もお送ります。(2口以上)

### 増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダU.S.リサーチジャパン(株)TEL: 03-3956-8888、HP: [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com) まで。

#### 【最近の配信履歴】

- 11月22日(水) No. 767 FRB 資産縮小 11月第二週
- 11月17日(金) No. 766 FRB の総資産発表
- 11月15日(水) No. 765 下げ相場だが、、、
- 11月10日(金) No. 764 上げ相場は終わった

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社(FAX: 03-3956-1313)までお知らせ下さい。